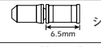
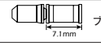
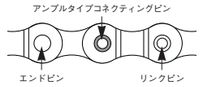
安全のために必ずお守りください。

⚠ 警告

- チェーンの洗浄には中性の洗浄液を使用してください。サビ落し等のアルカリ性あるいは酸性の洗浄液を使用するとチェーンにダメージを与え、チェーン切れを起こす場合があります。
- ナロータイプチェーンは必ずアンプルタイプ・コネクティングピンで連結してください。
- 2種類のアンプルタイプ・コネクティングピンがありますので、ご使用前に必ず下記の表でご確認ください。アンプルタイプ・コネクティングピン以外のコネクティングピンやチェーンに適合していないアンプルタイプ・コネクティングピンおよび工具を使用されますと充分な連結力が得られずチェーン切れやチェーン飛びを起こす場合があります。

チェーン	アンプルタイプ コネクティングピン	工具
CN-7701 / CN-HG93 の様な9段対応 スーパーナローチェーン	 6.5mm シルバー	TL-CN32 / TL-CN27
CN-HG50 / CN-HG40 の様な8、7、6段対応 ナローチェーン	 7.1mm ブラック	TL-CN32 / TL-CN27

- スプロケット構成の変更などでチェーンの長さを再調整する必要がある場合は、アンプルタイプ・コネクティングピンおよびエンドピンで連結されていない箇所で切断してください。アンプルタイプ・コネクティングピンやエンドピンで連結された箇所で切るとチェーンを損傷します。



- チェーンの伸び具合や損傷がないかどうか点検してください。伸びたり損傷がある場合には交換してください。チェーンが切れて転倒することがあります。
- 乗車前に車輪が固定されていることを確認してください。転倒して大怪我をすることがあります。
- **製品を取付ける際は、必ず取扱説明書等に示している指示を守ってください。**
  その際、シマノ純正部品の使用をお勧めします。またボルトやナット等が緩んだり、破損しますと突然に転倒して怪我をする場合があります。
- **製品を取付ける際は、必ず取扱説明書等に示している指示を守ってください。**
  調整が正しくない場合、チェーン外れ等の発生により、突然に転倒して怪我をする場合があります。
- 取扱い説明書はよくお読みになった後、大切に保管してください。

使用上の注意

- UGチェーンにはアンプルタイプ・コネクティングピンは使用になれません。連結部の動きが悪く、又きしみ音が発生します。
- 変速操作がスムーズに出来なくなった場合には変速機を洗浄し、可動部に注油してください。
- リンク部のガタが大きくなって変速調整が出来なくなった場合には変速機を交換してください。
- 定期的に変速機を洗浄し可動部（メカニズム部及びプーリー部）に注油してください。
- 変速調整が出来ない場合には、車体の後ろエンドの平行度の確認、ケーブルの洗浄及びグリスアップとアウターケーブルが長すぎたり短かすぎたりしていないかを確認してください。
- プーリーのガタが大きくなって、走行時、非常に雑音がうるさくなった場合は、プーリーを交換してください。
- 車輪の回転が重たくなった場合はグリスアップを行ってください。
- ハブの内部には注油は行わないでください。グリスが流れ出します。
- ギアは定期的に中性洗剤で洗浄し注油してください。また、チェーンの中性洗剤での洗浄及び注油も、ギア及びチェーンの寿命を延ばすのに効果があります。
- チェーン飛びが発生するようになった場合はギアとチェーンを交換してください。
- アウターケーブルはハンドルを一杯に操舵しても余裕がある長さのものをご使用ください。また、ハンドルを一杯に操舵した時に変速レバーがフレームに接触しないことを合わせて確認してください。
- インナーケーブルとアウターケーブルの摺動部分がグリス潤滑された状態で使用してください。
- インナーケーブル内蔵フレームは、ワイヤー効率が悪くSISが働きにくいため、ご使用できません。
- 変速に関係するすべてのレバー操作は、必ずフロントチェーンホイールを回しながら行ってください。
- 円滑な操作のため、指定ケーブル及びB.B.ガイドをご使用ください。
- チェーンは、より良い機能が発揮されるために指定チェーンを使用してください。
  ワイドタイプチェーンは使用できません。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の劣化は保証いたしません。
- 取扱い方法及びメンテナンスについて疑問のある方は、購入された販売店にご相談ください。

ご使用方法

SI-6KP0A-001

リアドライブシステム

SHIMANO Tourney

機能を充分に発揮させるために、次のラインナップによる使用を推奨いたします。

シリーズ		Tourney			
スピード		7段	6段	7段	6段
シフティングレバー	右	SL-RS43-7	SL-RS43-6	SL-RS43-7	SL-RS43-6
アウターケーブル		SIS	SIS	SIS	SIS
リアディレイラー		RD-TX70/RD-TX50 RD-TX30	RD-TX70/RD-TX50 RD-TX30/RD-TY18	RD-TX70/RD-TX50 RD-TX30 RD-FT30	RD-TX70/RD-TX50 RD-TX30/RD-TY18 RD-FT30
マルチプルフリーホイール		MF-TZ37/HG50 MF-HG37/TZ07	MF-HG40-6/HG22 MF-TZ06	MF-TZ37/TZ07 MF-HG50	MF-HG40-6/HG22 MF-TZ06
チェーン		CN-HG50	CN-HG50	CN-HG50	CN-HG50
B.B.ガイド		SM-SP18/BT18	SM-SP18/BT18	SM-SP18/BT18	SM-SP18/BT18

この取扱い説明書は、ご購入された自転車に装着されているシマノ製自転車部品の取扱い方法を説明しています。ご購入された自転車およびシマノ製自転車部品以外に関するご質問はご購入先または自転車製造元へのお問い合わせをお勧めいたします。

製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口
☎0570-031961
株式会社シマノ
堺市堺区老松町3丁77番地 〒590-8577

仕様

シフティングレバー

モデルナンバー	SL-RS43-7	SL-RS43-6
スピード	SIS7段	SIS6段

リアディレイラー

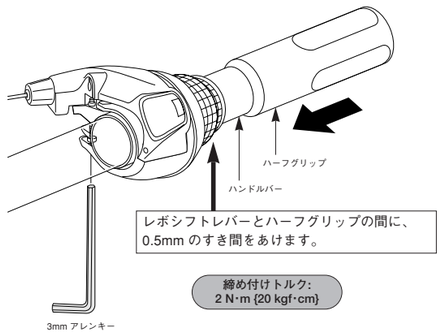
モデルナンバー	RD-TX70	RD-TX50	RD-TX30	RD-TY18		RD-FT30
タイプ	Smartcage	Smartcage	Smartcage	GS	SS	SS
スピード	7 / 6	7 / 6	7 / 6	6	6	7 / 6
トータルキャパシティー	43T	43T	43T	34T	28T	17T
リア最大ギア	28-34T	28-34T	28-34T	28T	28T	28T
リア最小ギア	11T	11T	11T	14T	14T	11T
フロント歯数差	20T	20T	20T	20T	13T	—

スプロケット歯数構成

スピード	7	6
歯数構成	14, 16, 18, 20, 22, 24, 34T 14, 16, 18, 20, 22, 24, 28T 13, 15, 17, 19, 21, 24, 34T	14, 16, 18, 21, 24, 34T 14, 16, 18, 21, 24, 28T

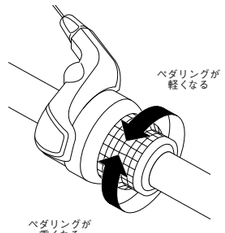
シフティングレバーの取付け

ブレーキ操作に支障をきたさない位置に取付けてください。
ブレーキ操作に支障をきたす場合は組合せ使用しないでください。



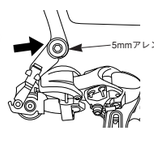
締め付けトルク:
2 N·m {20 kgf·cm}

変速操作方法



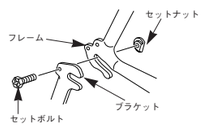
リアディレイラーの取付け

● 直付タイプ



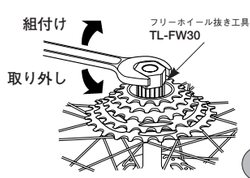
締め付けトルク:
8 - 10 N·m
{80 - 100 kgf·cm}

● ブラケットタイプ



締め付けトルク:
3 - 4 N·m
{30 - 40 kgf·cm}

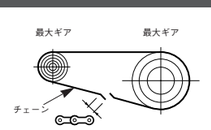
フリーホイールの取付け



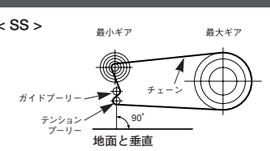
締め付けトルク:
30 N·m {300 kgf·cm}

チェーンの長さ

< GS >
フロント、リア共に最大ギアにチェーンをかけた状態で2リンク加えてください。



< SS >



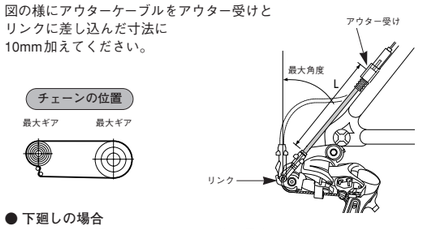
ケーブルの固定とストローク調整

< RD-TX70 / RD-TX50 / RD-FT30 >

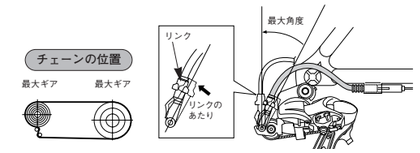
アウターケーブルが荷台、泥よけのステーにあたらないようにしてください。変速機能に支障をきたす場合があります。

RD-TX70/RD-TX50/RD-FT30のアウターケーブルの長さは下記のようにセットしてください。

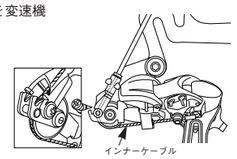
● 上廻しの場合
（チェーンの位置はフロント、リア共に最大ギア）
図の様にアウターケーブルをアウター受けとリンクに差し込んだ寸法に10mm加えてください。



● 下廻しの場合
（チェーンの位置はフロント、リア共に最大ギア）
アウターケーブルの長さは、アウターケーブルがスムーズなアールになるように、リンクがリンクの“あたり”からすこしはなれるような位置に設定してください。

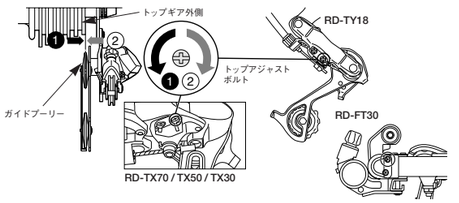


図のようにインナーケーブルを変速機に取付けてください。



1. トップ側の調整

後方から見て、ガイドプーリーがトップギアの外側の線の上にくるようにトップアジャストボルトを回して調整してください。



2. インナーケーブルの取付けと固定

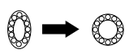
インナーケーブルをリアディレイラーに固定し、図のように初期の伸びを取った後、再びリアディレイラーに固定しなおします。
インナーケーブルはプライヤーで5 - 10kgの力で引っ張って固定してください。

締め付けトルク:
5 - 7 N·m {50 - 70 kgf·cm}

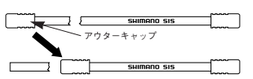
注意：インナーケーブルは必ず溝に添わせて固定してください。

インナーケーブルの通し方向
アウターケーブルの刻印側からインナーケーブルを通してください。
ケーブル効率維持のため、刻印側にグリスが封入されています。

アウターケーブルの切断
アウターケーブルを切断する場合には刻印の反対を切断してください。切断後の端面は、外側を真円に戻し、穴の内側を整えてください。

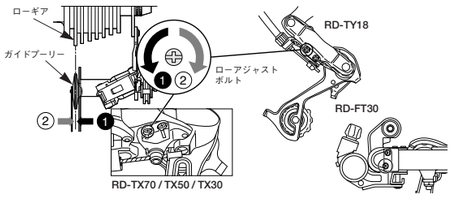


アウターケーブルキャップは、切断後も同一物を使用してください。



3. ロー側の調整

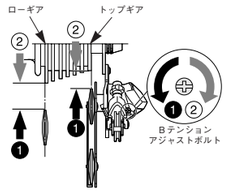
ガイドプーリーがローギアの真下にくるように、ローアジャストボルトを回して調整してください。



4. Bテンションアジャストボルトの調整

< RD-TX70 / RD-TX50 / RD-TX30 >

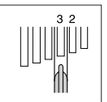
チェーンをチェーンホイールの最小ギア、フリーホイールの最大ギアにセットし、クランクを逆に回します。チェーンづまりしない位置までガイドプーリーがギアに近づくようにBテンションアジャストボルトを回して調整します。次にフリーホイールを最小ギアにセットして同様に、チェーンづまりがしないことを確認してください。



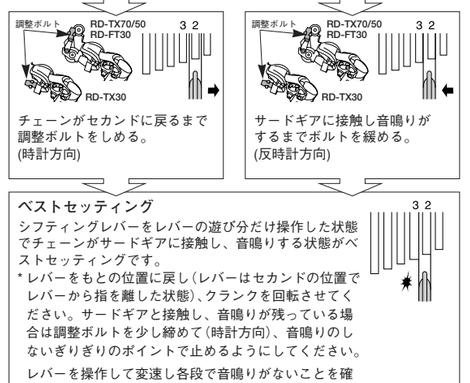
SISの調整

シフティングレバーを1回操作して、リアギアを2段目に変速させます。
その後、レバーの遊び分だけ操作した状態で、クランクを回転させます。

サード(3段目)に変速する場合



全く音鳴りがしない場合



チェーンがセカンドに戻るまで調整ボルトをしめる。
(時計方向)

サードギアに接触し音鳴りがするまでボルトを緩める。
(反時計方向)

ベストセッティング

シフティングレバーをレバーの遊び分だけ操作した状態でチェーンがサードギアに接触し、音鳴りする状態がベストセッティングです。
* レバーをもとの位置に戻し（レバーはセカンドの位置でレバーから指を離した状態）、クランクを回転させてください。サードギアと接触し、音鳴りが残っている場合は調整ボルトを少し締めて（時計方向）、音鳴りのしないぎりぎりのポイントで止めるようにしてください。
  レバーを操作して変速し各段で音鳴りがないことを確認してください。

SISの機能を充分に持続させるために伝達各部にオイルメンテナンスを行ってください。

インナーケーブルの交換方法

図のように①～③の手順でインナーケーブルを交換して下さい。